

平成21年9月8日（火）

（午前9時31分 開議）

○議長（中西峰雄君）おはようございます。  
ただ今の出席議員数は22人で定足数に達して  
しております。

○議長（中西峰雄君）これより本日の会議を  
開きます。

#### 日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（中西峰雄君）これより日程に入り、  
日程第1 会議録署名議員の指名 を行いま  
す。

本日の会議録署名議員は、会議規則第81条  
の規定により、議長において16番 中谷晋君、  
20番 中上君の2人を指名いたします。

#### 日程第2 一般質問

○議長（中西峰雄君）日程第2 一般質問 を  
行います。

順番7、7番 中谷和史君。

〔7番（中谷和史君）登壇〕

○7番（中谷和史君）おはようございます。  
ただ今議長のお許しをいただきましたので、  
本日トップバッターを務めさせていただき  
たいと思います。

2009年度9月議会一般質問を始めさせてい  
ただきます。

この夏の前半は、日照不足になるほど雨が  
多く、水不足の心配はなかったのですが、そ  
の分各地で集中豪雨の被害が出ました。特に  
山口県の防府市の被害や兵庫県佐用町での洪  
水被害は記憶に新しいところです。また、8  
月22日に市役所の防災訓練に参加させてい  
ただき、清水・南馬場の平谷池から西畑のごん  
ぼ塾の畑を見て、地滑り地近くの日霊の滝付

近を歩いてまいりました。平谷池の堤は良く  
手入れされていますが、見ていてあのゲリラ  
的集中豪雨がこの橋本市で降ったらどうなる  
のかと考えたとき、また近く予想される東南  
海地震が発生した場合の懸念につき、今回特  
に最近整備の手が入りにくくなっていると聞  
きますため池に焦点を当て、以下質問いたし  
ます。

防災の観点から、集中豪雨のような大雨や  
地震などに備え、かんがい用ため池等の安全  
を確保するため、堰堤などの整備状況を把握  
しておく必要があると思いますが、本市の取  
り組みについてお伺いいたします。

橋本市には大小650を超すかんがい用ため  
池がありますが、池を管理していただしてい  
ます水利組合構成員の就農者の減少や高齢化  
に伴い、十分な管理や整備が難しくなってい  
るのが現状であると聞きます。市のほうでは  
堰堤及び池の状況についてどの程度把握され  
ていますか、お伺いいたします。

最近では、池の排水路近くまで人家が存在  
する地域があり、防災の観点からも堰堤の調  
査状況把握を行い、危険箇所把握と整備修復  
を図ることが必要であると思いますが、お考  
えをお伺いいたします。

続きまして、ひとたび風が起こるとこうな  
るよという小選挙区制のシステムそのままに、  
小泉・郵政選挙の裏返しのような鳩山・政権  
交代選挙となり、16年ぶりに自民党が下野し  
ましたが、新政権になりさらに地方分権の流  
れが加速すると思われま。

その場合、政府は基礎自治体の大きさを人  
口10万から30万人規模が妥当で、全国700から  
800自治体を考えていると思いますが、紀北地  
域の中心都市として、本市の取り組みについ

てお伺いいたします。

一つは地方分権、民主党のマニフェストでは地域主権と書かれておりますが、それに対する基本的なお考え及び取り組みについてお伺いいたします。

次に、紀北地域の中心都市橋本市としての考え、基本的なスタンス及び取り組みについてお伺いいたします。

さらに、総務省の進める定住自立圏構想について以前の議会でも取り上げましたが、基本的なお考え及びその後の取り組みについて再度お伺いいたします。

これをもちまして、1回目の質問とさせていただきます。よろしくご答弁のほどお願いいたします。

○議長（中西峰雄君）7番 中谷和史君の一般質問に対する答弁を求めます。

市長。

〔市長（木下善之君）登壇〕

○市長（木下善之君）おはようございます。

7番 中谷和史議員の御質問にお答えをいたします。

本市の地方分権に対する基本的な考え方としましては、基礎的自治体に対応可能な事務事業の権限と財源が移譲され、国から地方への事業別補助金が廃止され、効率的に財源を活用できる一括交付金が交付されることとなります。この地方分権の流れを、本市としましては受け身ではなく主体的に取り組んでまいりたいと考えてございます。

権限と財源が移譲されれば、地域のことは地域で決めることができることとなり、橋本市長期総合計画に基づき、本市の将来像「時間ゆたかに流れ 暮らし潤う創造都市 橋本」の実現に向けたまちづくりを一層推進してまいります。

次に、紀北地域の中心都市としての考え、基本的なスタンス及び本市の取り組みについ

てであります。本市は紀北地域でも都市のインフラが着々と整備されつつある市と考えております。現在、長年の課題となっていました保健福祉センターの建設に向けた取り組みや、橋本市交通バリアフリー基本構想に基づき橋本駅のスロープやエレベーターの設置並びに橋本駅周辺の整備も進めております。また、保護者のニーズに対応した認定こども園も開園いたしましたところであり、さらに平成16年には最新医療機器を導入した地域の拠点病院として橋本市民病院が小峰台に開業を見たところでもあります。

今後は、企業誘致により若者たちが安心して橋本で生活できるよう職住近接のまちづくりを進めるとともに、天空の高野山を含め、伊都地方の自治体と横断的な連携をもって、観光開発などにぎわいのある紀の川中流域圏の核となる都市を目指してまいりたいと考えております。

次に、定住自立圏構想については、平成21年3月31日現在で16団体が中心市宣言をしており、宣言都市においては圏域の中心となる中心市の都市機能と周辺市町村の環境、歴史、文化などの魅力を活用し、その集約とネットワーク化により相互に役割を分担し、定住の受け皿となる自立圏域の形成を進めているところでございます。

本市においても地方分権が進む今日にあって、急速な少子高齢化や地方分権の加速化によるニーズの多様化、さらに橋本周辺広域市町村圏組合での諸課題を解決し、活力あるまちづくりを進めていくためには、市民が定住し、魅力あふれる自立した圏域を創造していくことは大変重要であります。

そのため、定住自立圏構想について調査研究をしてまいりましたが、中心市となるためには昼夜間人口比率すなわち昼間人口に対する夜間人口の割合が1以上であることの要件

を橋本市は満たしていないことが大きな課題となっているため、その要件を解除、または特例措置の要望を県を通じて国のほうに働きかけをしていくことを検討しております。

橋本伊都地域で人口定住のため必要な生活機能を確保するため、相互に役割分担し、本市が中心市となる定住自立圏構想をさらに調査、研究し、中心市宣言に向けて努力してまいりますので、ご指導、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

なお、残余の件については担当参与よりお答えさせます。

**○議長（中西峰雄君）**

経済部長。

〔経済部長（山本重男君）登壇〕

**○経済部長（山本重男君）** かんがい用ため池等についてのご質問にお答えいたします。

ご指摘のとおり橋本市内には約650カ所のため池が存在します。このため池の状況についてはほとんど把握していないのが現状です。水利組合より改修要望が出されたため池については、順次改修を行っております。

平成21年度において、このうち159カ所のため池について南近畿土地改良調査管理事務所が主体となり、関係市町とともに紀の川流域のため池に関するアンケート調査を実施しました。内容については現状の把握や維持管理内容、水利用、防災等の課題、さらに将来どのような整備要望を持っておられるのかをお聞きし、その一層の活用と保全に役立てることを目的にアンケート調査をいたしました。

この調査については、比較的受益面積の大きいため池の調査でありますので、残りのため池についても調査をしてまいりたいと考えております。

次に、防災の観点からも堰堤の調査状況把握を行い、危険箇所を整備修復を図ることが必要であるとのことではありますが、下流部に

民家や公共施設等が存在し、洪水等の影響が大きいため池は、和歌山県水防計画書の中に橋本市では27カ所を定めています。また、ため池点検マニュアルで管理、点検のポイントの方法等を記載し、各ため池管理者に配付をして、異常があれば市の方へ連絡をいただき、協議してまいりたいと考えております。

**○議長（中西峰雄君）** 7番 中谷君、再質問はありますか。

7番 中谷君。

**○7番（中谷和史君）** ご回答ありがとうございます。それでは、まずため池の方から再質問させていただきたいと思えます。

今、県の水防計画の方でまず27カ所、橋本市が指定されてということで、その状況を把握していただいているという答弁をいただいたんですけども、指定してその後どうなるというような、27カ所を指定して水防計画はどうなるかという内容をちょっとお答えできたらお願いいたします。

**○議長（中西峰雄君）** 経済部長。

**○経済部長（山本重男君）** 和歌山県の水防計画書の中に27カ所のため池が定められております。これにつきましては、ため池の下流部に民家や公共施設等がありまして、防災上重要な箇所だと位置付けられております。ただ、この27箇所については重要なため池であるわけですが、これが即危険なため池であるとは判定されておられません。

以上でございます。

**○議長（中西峰雄君）** 7番 中谷和史君。

**○7番（中谷和史君）** いや、その重要なところと位置付けられて、定期的に点検を県がしていただくとか市がしているとか、そのあたりのところをお伺いしたいなと思えます。

**○議長（中西峰雄君）** 経済部長。

**○経済部長（山本重男君）** 現在その27カ所につきましては調査を行っておりますが、これ

からも、和歌山県水防計画書に記載されている27カ所につきましては、地域防災計画に緊急避難体制を想定いたしましたハザードマップの作成をするように、関係部署と協議しながら作成していきたいというように思っております。

○議長（中西峰雄君）7番 中谷和史君。

○7番（中谷和史君）ありがとうございます。実は大変今気になっているところが1カ所ございまして、371号、ずっと拡幅工事をやっているところの上を上っていきまして、倉谷池がありまして、その上の塩谷池、あそこが2個で1個、セットになっている池なんですけれども、上の塩谷池の堰堤、今あそこは通行どめになっていますので、あの奥に上られた方は多分あまりおらんかと思っておりますけれども、国道の重みでかどうなのか、堰堤が崩れかけて長いことブルーシートをかぶしたままになっております。もしあそこが、実は一月ほど前に行って、先日もこの質問をするときに再度行って来たんですけれども、ちょっと堰堤の膨らみが大きくなっておる。そんな中でブルーシートも入れ換えておられましたので見ているのは見ているんだと安心してはすけれども、ああいう形であそこが、もし塩谷池が切れますと下の倉谷池は多分そのまま崩壊する、どっと水が入ったら。そうするとその下の向副地区の方にどっと水が流れていく可能性があると思っておりますけれども、そういうのがちょっと気になりましたので今回こういう質問になったわけですけれども、あそこの修繕、改修の予定とかめどとか、その辺はもう立っておられるんでしょうか。

○議長（中西峰雄君）経済部長。

○経済部長（山本重男君）倉谷池の上池の修復のめどということでございますが、塩谷池は堤防、国道371線に認定されております。災害につきましては、国道の側溝があふれまし

て被災したものでございまして、応急工事につきましては和歌山県が施工しております。この堤防は、国道の拡幅計画もありまして平成22年度に施工すると聞いております。

○議長（中西峰雄君）7番 中谷和史君。

○7番（中谷和史君）確かに、堰堤の上をまともに国道が走っておるのであれも国道の管理になるのかと思っておりますけれども、拡幅される22年度まで、22年度の早い時期であれば来年の4月とかとなるんでしょうけれども、大丈夫かなという気が大変いたします。そのあたりを一度確認をお願いしたいなど。非常にあそこが危険度が高いなど。それでいろいろ考えますと、今非常に高齢化が進んでおまして、もう一カ所向副にスリコミ池というのがあってそこの堰堤がもう崩れかけておまして、この間それをこの21年度で余水吐の排水口を修繕していただいたということを知り、農林の方も結構やっていたいんだということなので安心はしておるんですけれども、各池の方の管理が本当に行き届いていないのではないかなど。その中で先ほどご答弁いただいたようにほとんど把握していませんという状況の中で、今後どのように把握していくか。必要ないということであればあれなんですけれども、多分その把握は絶対必要だと思っておりますので、そこら辺のところを部長のご見解をお伺いしたいと思います。

○議長（中西峰雄君）経済部長。

○経済部長（山本重男君）将来的にどうするのかということだと思っておりますが、橋本市の農業従事者の平均年齢が64歳と高齢化が進む中で、ため池が宅地化されてどんどん受益地が減少していくというような状況になっております。高齢化が進みまして池の管理も十分されていないのが現状でございます。

そういった中で整備、改修を行っていかねばなりません、まずは159カ所をアンケ

ート調査をしたわけですが、残りの約500ある池につきましてもアンケート調査をしたいと考えております。この159カ所のアンケート調査した池の管理者に点検マニュアルという冊子をお配りいたしまして常時点検していただくというように、もう既に配付をさせていただいております。また、残りの約500の池につきましてもこの点検マニュアルを配付いたしたいというふうに考えております。実際の整備、改修につきましては、工事に対する負担金が必要になってきます。この負担金についてご了解のいただいた水利組合について整備、改修を行っているというのが現状でございます。

以上でございます。

○議長（中西峰雄君）7番 中谷和史君。

○7番（中谷和史君）全体としてアンケート調査であったり緊急的に今急いで整備せいかんようなどころがないのかということの調査はぜひしていただきたいなというふうに思います。

実は今の倉谷池の上の塩谷池、上池の話ですけれども、下の倉谷池は水を今危険に備えて抜いておるような感じなんですけれども、上の池が全然水が満水のままであると。ほかの事情もあるのかもわかりませんが、私の想像ではひょっとしたら水を抜くための樋の位置がよくわからなくなっているんじゃないかなと。樋が抜けへんので昔の木でつくった樋であったりしましたら、なかなか、潜って泳いでいって樋を抜かないかなというようなことがあると思います。

実は私が一般質問の通告書を出した後に、9月1日の夕刊、毎日新聞なんです、決死の素潜り、決壊とめたというような記事が出ております。これは福岡県の直方市の7月の集中豪雨で池が満水になって決壊のおそれが出て、地元の消防団がどうするかと言ってい

たときに、引退した消防団の方でスキューバダイビングを趣味にされている方がおられて、おれが潜るよということで池の樋を抜きに潜って抜いていただいたと。それで池の決壊を防げたというような話があるんですけども、恐らくそういう池がたくさんあると。

今、高齢化でなかなか池の堰堤へ、草を刈りに行くのがもう、年間整備されていても草を刈るのが精いっぱいというところ、樋の整備、また年に一遍ぐらい池を干して中の泥を取ってという作業ができていない池がたくさんある。大小いくつかあるんで大きく堰堤の高い、危険の度合いにもよりますけれども、そういう池はできれば斜樋というのか底樋というのか、腐りにくいステンレスなんかでハンドルを回せば、あるいはボタンを押せば自動で樋が抜けるような整備をするのが急務でないかなと考えるんですが、ああいう樋を一つつくると、一般の池で何ぼぐらいかかるものかとか、あるいはしゅんせつしたらどの程度というのはある程度わかりますかね。

○議長（中西峰雄君）経済部長。

○経済部長（山本重男君）ため池の樋の改修につきましては、いろいろステンレスでやるとか鋳鉄でやるとかいろいろあると思いますが、仮にステンレス製の斜樋で鋳鉄のスライドゲートを設置、底樋をヒューム管ということで改修した場合でございますが、先ほどの塩谷池のクラスの池で約概算2,000万円程度は必要になってくるかと思われま。

○議長（中西峰雄君）7番 中谷和史君。

○7番（中谷和史君）今1カ所2,000万円というお話をいただいたわけですが、そうなるともう恐らく地元負担じゃ無理だと思います。しかもやはり緊急放流というのは非常に重要なあれになってくると思うので、池の底まで抜けるような樋でなくてもいいと思うんで、2,000万円もかからない程度の、緊急的

に入ってくる水以上にある程度抜けるよと、あふれないよというような、余水吐を大きくしておけばそれはそれでいいというような話なんでしょうけれども、そういうような整備を今後何らかの施策の中で考えていっていただきたいと思うんですが、それは市長、もしご意見がございましたら一回ちょっと。

○議長（中西峰雄君）市長。

〔市長（木下善之君）登壇〕

○市長（木下善之君）中谷和史議員の再質問にお答えしたいと思います。非常に農業そのものが斜陽産業に追い込まれてきた事実、高齢化が進んでおるといこと、そういうことから本当にため池の維持管理が難しくなってきたのは事実であります。しかし、農業用ため池ということも重要な役割を果たしており、今後ともしなければならぬと思いますけれども、防災上の問題とか火災とか、そういうことに対しての調整池的な役割も非常に大事ではないかなと思っておるわけですが、一応さらにご指摘いただいております件については県の農林部とも十分、一回現地も、大事なやつ見ていただいて、そして手遅れのないように、人命にかかわる問題ということも今後判断しなければなりませんし、私も大分あちこち出歩くのが好きで市内の主立った池は端から端まで皆知っていますけれども、大分中心鋼が弱っておるんですよ。昔からちゃっとつくれた中心鋼の堰堤の、これが老朽しておるといことは、近世の間では大中心鋼に入れ換えということ、これはやっぱりいくら経費がかかってもまた民主党にお願いして、全部きちっとやれるように努力してまいりたいと思います。

○議長（中西峰雄君）7番 中谷和史君。

○7番（中谷和史君）ありがとうございます。

民主党の対応はどうかとしまして、市長のほうから前向きなご答弁をいただきましたの

で、ぜひ本当に年に一つでも結構です。で一個一個池を、少なくとも緊急のときに抜いていけるような、決壊のおそれのあるところからやっていただいたら結構かなと。地震で堤が割れるのはある程度仕方ないと思うんですけども、そのときでも緊急放流でかなりの被害が防げるといいますので、よろしくお願いします。

今、市長の口から防災の観点から、あるいは消防の防火用水のと、あるいは洪水を防ぐための一時ダムみたいな形の話が出ましたけれども、この辺の池の管理、まず27カ所の重要な場所について、これは市民安全課もしくは消防の方できちっとそれは連携がとれておるのかどうか、とりあえずお伺いいたします。

○議長（中西峰雄君）総務部長。

○総務部長（中山哲次君）今現在のため池の管理状況等々につきましては、経済部長がご答弁させていただいたとおりでございまして、総務部市民安全課といたしましては、橋本市の水防計画ということの中で27カ所ということ、各箇所貯水量等も含めまして情報把握させていただいております。消防署とも今後も連絡等については十分協力はしていく必要があるかと考えております。

○議長（中西峰雄君）消防長。

○消防長（森 正克君）総務部長の言われたとおり、同じように水防計画27カ所危険を有する箇所について記載しておりますので、今言われたのと一緒でございます。

○議長（中西峰雄君）7番 中谷和史君。

○7番（中谷和史君）ありがとうございます。

そういうことで、いずれにしましても池の場合はやはり地元の消防団、これが一つのキーポイントになってこようかと思っておりますので、ぜひそこらの連携のほうをよろしくお願いたしたい。昨日の同僚議員、23番議員も言っていましたように、ここは知っているんやけど市

民安全課は知らんよとか、市民安全課は知っているけど消防は知らんよというような、横の連携がとれていないようなことのないように、ぜひ前後の連携をとっていただいてやっていただきたいなど。できればやはり27カ所については避難マップとか、この場合はこうするよというマニュアルのようなものをつくっておく必要があると思うんですが、再度総務部長にご答弁いただけたらと思います。

○議長（中西峰雄君）総務部長。

○総務部長（中山哲次君）確かに過去にも私も経験しているんですが、大雨とか台風等、学文路地内でたしか水が抜けない中であふれてしまうということで、ポンプで排水に行った記憶もあるわけでございます。そうしたことで、今後地元区長さんはじめ自主防災会等々も含めまして、そうした今後の万が一のときの避難訓練等、マニュアルが、どのようなやり方がいいのかというようなことも今後機会あるごとに自主防災会等々、区長さんとも議論していきたいというように考えております。

○議長（中西峰雄君）7番 中谷和史君。

○7番（中谷和史君）ありがとうございます。

恐らく地元も待っていると思うんで、その辺の話をぜひしていただいて、修繕のほうは経済部のほうで、危険のほうは市民安全課と総務部、また消防のほうでぜひよろしく願いしたいなということで、要望でよろしく願いいたします。

次に、地域主権という形で、非常にこれから市長の言われるように権限と財源がこちらの基礎自治体のほうに回ってこようかなど。非常に前向きなご答弁をいただきましたので、もうそれで結構なんですけれども、ただ先ほど市長も言われたように、昼間人口の問題がやはりあります。それについて県、正式なルートとしては当然県のルートを通してという

ことになるかと思えますけれども、せっかくだいろんな国会議員が9人も和歌山から出ているわけですし、総務省の特例措置を依頼するとか、前回質問させていただいてからずっとそのことを私、個人的にも国会議員にも言っていましたけれども、市のほうにも言っていたと思うんですが、そこらの取り組み状況についてちょっとお伺いしたいなと思います。

○議長（中西峰雄君）企画部長。

○企画部長（吉田長司君）言っていますように、昼夜間人口の比率といいますのが、橋本市の場合0.84、これは国勢調査の結果でございますけれども、そういうことで条件から外れているということでございます。そういうことで、このことで何とかしていただきよということだけで県へ協議しに行ったとか文書を出したというのはまだございません。ただ、市長村課との会合がある中で、どうにかならないのかなという話をした中では、今の現状がこういうことなので非常に難しいよということは言われています。そういうことで、正式な特例措置に向けての具体的な行動というのはまだ起こしていないような状況です。

○議長（中西峰雄君）7番 中谷和史君。

○7番（中谷和史君）0.84ということで非常に難しい部分があるのかなという気はするんですけれども、ぜひ公式、非公式に働きかけていただいて指定のとれる方向で、というのは20年ほど前の地方拠点都市法のときに橋本が出遅れたと。御坊に先に、提案したのは橋本のほうが早かったはずなんですけれども、二階さんの力もあったのか、御坊が先につくられた。300億円ほどの特例の交付金がついておったんですね。橋本も後で遅れていったので、最初私その辺はあまり政治の世界にかかわっていなかったのでよくわかりませんが、ちょっと遅れたということもありました。今回ぜひ、これが恐らくそれにかわる措

置であろうというような気が私もしていますので、後々の合併特例債が終わった後の財源の措置も見据えたときに、やはり定住自立圏で伊都郡の雄としての橋本市という動きをしっかりアピールしておく必要があると思うんで、ぜひ前向きに動いていただきたいというふうに思います。

市長の答弁の中にもございましたけれども、広域圏組合の中でもなかなか話がまとまりにくい、難しい話も、確かに協定を結ばないかんという1点難しいところはあるわけですが、それによって橋本市がリーダーシップをとって受け皿として自主的に決めていけるというメリットは大変大きいと思いますので、そここのところで再度しっかり取り組んでいただくよう、市長もぜひ再選に向けて頑張っていたきたいと思いますので、再度ご答弁いただいて終わりにしたいと思いますが、よろしくをお願いします。

○議長（中西峰雄君）市長。

〔市長（木下善之君）登壇〕

○市長（木下善之君）昼間人口の問題を指摘されておりますけれども、やはり私がいつも申し上げているように、しっかり足腰強いまちづくりをしないとだめなんですよね。今はひ弱いんですよ。出稼ぎです、大方。そんなことで私も動向を調べてみましたら、人口で合併したとき約7万人、6万9,960人ほどですから7万人、最近では6万8,500人。だいたい年間500人前後減っておるんですよね。減り方が大きいんですよ。国から見て微増しておるんだったら見通しが立ちますよ。かなりの勢いで減っておるのが事実なんです。それを分析してみますと、自然の増減、去年の20年度は出生人数が478人、死亡者数が667人、差し引き189人ですか、自然の増減で約200人ほど減っておるということ。20年度の社会の増減を見てみますと、転入者数が1,145人、転出者

数が1,568人、働く場所がないから、あるいはその他の事情もあるでしょう。400人あまりが出ていっておるわけですね。これが大きいんですよ。この数字を見たら、拠点都市や何やかやと言うたかって、何言うてんのよと。なかなか難しいんです。

私はこれらを是正するために、当初、きのうも十分話はさせていただいていますけれども、やはりしっかりとしたまちをつくり、見通しを立ててその数字がしっかりとしたものを国へ上げていかないと、なかなか何とかやってよというぐらいではとてもやないけど難しい問題を抱えておるわけでございます。非常に懸念をしておりますのに、学校の卒業生の大半が出ていくんですよ。これをとめるような方策を、それをしないと、勉強せないかん、教育に力をつけないかんというのは私も百も承知しています。力つけてどんどん出ていく、出ていくのも仕方ないと思うんですけれども、それをやはりうまくとめて郷土愛に燃えて、そして地域で一定の、高額所得までいかんでもかなりの所得者がどんどん生まれてくるようなまち、そういう見通しをやはりきちっと議会と我々とで組み立てて、そして太いパイプでそれがいけるならば、これはまた政府与党のほうへ強い馬力で頼んでいくということ。そうせんと、今の数字ははっきり言って尻すばみですよ。違いますか。皆さんは一々そういうことを私が言わなくてもわかっていると思いますけれども、文書にだけ残しておきます。

以上でございます。

○議長（中西峰雄君）7番 中谷和史君。

○7番（中谷和史君）市長から非常に力強い言葉とまた我々議会も頑張れということで、私が言って代表してしゃべるわけにはいきませんが、議会挙げて与党へ陳情の折は回らせていただくということで、ぜひ本当に

前向きに進んでいただいて、良い市にしてい  
ただきたいということを要望いたしまして、  
私の一般質問を終わらせていただきます。

ありがとうございました。

○議長(中西峰雄君) これをもって、7番 中  
谷和史君の一般質問は終わりました。

この際、10時30分まで休憩いたします。

(午前10時16分 休憩)